Cisco Webex Share セキュリティ

- 証明書について （1 ページ）
- 証明書を生成する （1 ページ）
- 証明書をダウンロードして署名する （3 ページ）
- 証明書をアップロード （3 ページ）
- 認証機関またはルート証明書を追加する （4 ページ）
- 証明書をサポートするようにWi-Fi設定を構成する （5 ページ）
- イーサネット802.1X証明書を登録する （5 ページ）
- 利用可能な証明書を表示する （6 ページ）

証明書について

ほとんどの Cisco デバイスは、パスワードに加え、x.509 証明書を使用したワイヤレス接続に対応しています。会社がワイヤレス接続に証明書を使用している場合は、デバイスを起動する前に証明書を導入します。

デバイスの IP アドレスをブラウザに入力してアクセスするデバイスの設定 web ページから証明書を作成し、管理します。デバイスがコントロールハブに登録されると、設定ページがデバイスのwebページになります。設定ページが表示されない場合は、初期化を行い、デバイスを工場出荷時の状態に戻します。

導入後に証明書を使用することを決定した場合は、初期化してからコントロールハブからデバイスを削除してください。2 番目のアクティベーションコードを生成して、デバイスを再起動します。ただし、証明書の導入が完了するまでは、デバイスをコントロールハブに登録しないでください。

証明書を生成する

デバイスを起動する前に証明書を生成します。Wi-fi または 802.1 x に EAP-TLS を使用する場合は、デバイス証明書を取得してから CA 証明書をロードします。

始める前に

- デバイスをネットワークに接続します。
- デバイスのIPアドレスを取得します。

手順

ステップ 1 Webブラウザを開いて、次のURLを入力します。*IP address*はデバイスのIPアドレスです。

http://*IP address*

ステップ 2 **設定** > に移動して**証明書を追加します**。

ステップ 3 **証明書の登録**を選択します。

ステップ 4 フィールドに情報を入力します。

- 一般名: デバイスを識別するルーム名または名前。
- 組織単位名: 証明書リクエストを行う部署名。たとえば、Finance や IT などです。
- 組織名: 証明書リクエストを行う正式な企業名。Ltd. やCorp. などのサフィックスも含めます。
- ロケーション: 組織が所在する市町村。
- 都道府県: 組織が所在する正式な都道府県。短縮形を使用しないでください。
- 国: 組織が所在する国の 2 文字のISOコード。US、GB、FR など。
- キーサイズ：2048 または 4096
- キーサイズ：2048 または 4096
- 証明書の使用状況: 以下の 1 つ以上を確認してください。
  - **EAP / TLS** 無線接続用
  - **802.1x** 有線接続用
- 拡張キー使用オプション: 以下の拡張機能の両方を選択します。
  - サーバ認証の**serverAuth**
  - クライアント認証の**clientAuth**

ステップ 5 [生成（Generate）] をクリックします。

次のタスク

証明書を署名する。

関連トピック

Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション

証明書をダウンロードして署名する

証明書が生成されたら、証明書署名リクエスト(CSR)をダウンロードして、完了できるようにします。

始める前に

このデバイスの無署名証明書を生成しました。

デバイスの IP アドレスを取得します。

手順

ステップ 1 Webブラウザを開いて、次のURLを入力します。*IP address*はデバイスのIPアドレスです。

http://*IP address*

ステップ 2 **設定** > **をナビゲートして証明書を追加します。**

ステップ 3 **証明書の管理**を選択します。

ステップ 4 [ダウンロード（Download）] をクリックします。

コンピュータにダウンロードする証明書。

ステップ 5 ダウンロードした証明書署名要求（CSR）を署名してもらいます。組織通例の手順に従ってください。

次のタスク

CSRに署名したら、署名済み証明書をアップロードします。

関連トピック

Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション

証明書をアップロード

サーバに証明書をアップロードします。適切な権限が最初に署名されている必要があります。

始める前に

デバイスのIPアドレスを取得します。

証明書が、プライバシー強化メール (PEM) 形式であることを確認します。

手順

ステップ 1 Webブラウザを開いて、次のURLを入力します。*IP address*はデバイスのIPアドレスです。

http://*IP address*

ステップ 2 **設定** > をナビゲートして証明書を追加します。

ステップ 3 **証明書の管理**を選択します。

ステップ 4 [署名付き証明書のアップロード] で、**アップロード**をクリックします。証明書の場所にナビゲートします。

間違った証明書をアップロードしてしまった場合は、正しい証明書をアップロードし直してください。

関連トピック

Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション

認証機関またはルート証明書を追加する

始める前に

wifiまたは802.1xでアップロードする認証機関(CA)またはルート証明書があります。

デバイスのIPアドレスを取得します。

手順

ステップ 1 Webブラウザを開いて、次のURLを入力します。*IP address*はデバイスのIPアドレスです。

http://*IP address*

ステップ 2 **設定** > をナビゲートして証明書を追加します。

ステップ 3 **認証機関またはルート証明書**を追加します。

ステップ 4 以下から少なくとも1つは選択してください。

802.1x

EAP-TLS

デジタル サイネージ

ステップ 5 **[証明書のアップロード]** をクリックします。

関連トピック

Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション

証明書をサポートするようにWi-Fi設定を構成する

署名された証明書をアップロードした後、Wi-fi 設定を設定し、証明書を選択します。

始める前に

デバイスのIPアドレスを取得します。

手順

ステップ 1 Webブラウザを開いて、次のURLを入力します。*IP address* はデバイスの IP アドレスです。

`http://`*IP address*

ステップ 2 **設定** > をナビゲートして証明書を追加します。

ステップ 3 **ネットワークの** > **Wi-Fi**にいきます。

ステップ 4 SSIDを選択します。

ステップ 5 最初のドロップダウンリストボックスをクリックして、サポートされているプロトコルを表示します。

ステップ 6 **EAP-TLS**を選択してください。

ステップ 7 [クライアント証明書の選択]で証明書を選択します。

ステップ 8 [CA 証明書の選択] で証明書を選択します。

ステップ 9 （任意） ユーザ名を入力してください。

ステップ 10 [参加（Join）] をクリックします。

関連トピック

Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション

イーサネット802.1X証明書を登録する

Wi-Fiを使用するデバイスにはイーサネット802.1x証明書が必要です。

デバイスのIPアドレスを取得します。

始める前に

802.1xプロトコルで証明書を生成して署名します。

手順

ステップ 1 Webブラウザを開いて、次のURLを入力します。*IP address*はデバイスのIPアドレスです。

http://*IP address*

ステップ 2 **設定** > をナビゲートして証明書を追加します。

ステップ 3 **Ethernet 802.1X 証明書**を選択します。

ステップ 4 ドロップダウンリストから証明書を選択します。

ステップ 5 [選択（Select）] をクリックします。

関連トピック

Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション

利用可能な証明書を表示する

証明書をアップロードすると、証明書の情報を表示できます。これは問題をトラブルシューティングするときに役立ちます。

始める前に

デバイスのIPアドレスを取得します。

手順

ステップ 1 Webブラウザを開いて、次のURLを入力します。*IP address*はデバイスのIPアドレスです。

http://*IP address*

ステップ 2 **設定** > をナビゲートして証明書を追加します。

ステップ 3 **証明書の登録**を選択します。

ステップ 4 **情報**をクリックして証明書に関する情報を表示します。
各証明書は以下を示します。

- 共通名: 完全修飾ドメイン名
- Cert Type - 値は CSR 証明書、ローカル、CA /ルートです。
- Cert Usage - 証明書がサポートするプロトコルを一覧表示します（802.1x、EAP / TLS）。

ステップ 5 （任意） 必要に応じて、**[削除]**をクリックして証明書を削除します。

関連トピック

Cisco Webex Shareへの接続とアクティベーション